



## 能登島自然の里ながさき

### 団体の概要

平成21年3月「能登島自然の里ながさき」を発足。同年、石川県の先駆的里山保全地区(7地区)に選定されたのがきっかけとなりました。生物多様性の保全と町民の所得向上に繋がる里山里海資源の生業の創出を目標に人と自然が共生する地域を目指しています。長崎地区を中心に隣接地や能登島全体で活動を展開しており、またメンバーは長崎町を主体にその他地域の参加もあり、約30人、中心となるスタッフ数は約15人ほどです。

「な・が・さ・き＝長く・頑張れ・幸多き・希望の里」を基本理念に無理のないように取り組んでいます。

### 本制度における森林保全活動の内容

森林の場所：七尾市能登島  
実施項目：植栽、除伐、間伐  
実施時期：9月から3月  
実施人数：のべ42人

生物多様性調査・保全活動、希少植物の保全を第一に、従来の松茸産地の再生整備を行っています。

管理放棄の森林では、ウラジロがはびこり、大きく生物多様性を害していましたが、7年前から「しめ飾り」の資源活用として、住民の副収入となっています。

また、今後の里山管理の利活用において車両の進入可能な林道整備が不可欠なため、現在、約3kmの整備を進めており、塩づくりの燃料となる薪木の調達と、その塩づくりを活かした山菜の塩漬けや植樹などの作業が容易になります。その他に、3箇所の展望台とツリーハウスと自然散策道を整備しており、こども達の自然体験プログラムに活用しています。

# 森林保全活動の写真

## 1) 植樹

作業中



作業後



## 2) 除伐、間伐

作業中①





作業中②



作業中③



集合写真



## 本制度へのコメント

その地域の自然環境やその成り立ちからくる生業があり、特に長崎地区では生物多様性の保全活動に尽力を注いできました。その活動が認められたかどうかは分かりませんが、世界農業遺産の構成資産(ビオトープ活動・松茸再生による塩づくり)や環境省の「生物多様性上重要な里地里山」に選定されるなどの評価を頂きました。今後は、水辺ビオトープのほか、森林のビオトープ、海のビオトープづくりを展開していき、CO2削減に繋がる活動に取り組んでいきます。

能登島自然の里ながさき  
代表 源内伸秀